

水道事業評価(令和7年度)						担当課	財務課
1 事業情報							
目指すべき方向性	持続	基本政策	5 社会・環境との調和	施 策	5-2 資源の有効利用と環境負荷の軽減	事 業	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用

2 事業評価の概要

項目	内容							
基本政策	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。							
事業目的	・電力消費量削減のため、施設の更新時に高効率型設備や省エネルギー型設備を導入します。 ・これまで公用車へのハイブリッド自動車・電気自動車の導入により削減してきた燃料使用量を今後も維持します。 ・循環型社会構築のため、建設発生土などの再生資源を有効活用します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	・公用車の燃料使用上限量を、15,400L(H27～29年度平均)とします。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用します。							
期間	令和7年4月 ～ 令和8年3月							
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位: %
	事業費計	2,928	2,263	665	1,622	1,199	423	55%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	2,928	2,263	665	1,622	1,199	423	55%
	人件費	83			83			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	885千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	30%		
進捗状況	・燃料使用量は、目標上限値に対し、32.1%であり、予定範囲内です(9月末時点)。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用しています。			

4 終了時評価(事業の達成状況)

達成状況	・燃料使用量は、目標上限値に対し、60.2%であり、使用量抑制目標を達成しました。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用しました。
------	--

5 水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標

水道事業ガイドライン業務指標(PI)・独自指標					R7	R8	R9	R10
指標名	燃料使用量	単位	L	目標値	15,400			
算出式・根拠	(平成27～29年度の平均使用量)				実績値	9,276		
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			
指標名		単位		目標値				
算出式・根拠					実績値			

6 視点評価及び総合評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
有効性	指標や目標値の達成度	A	説明責任	意見や苦情に対する適切な対応	B
	目的に対する実施内容	A		情報発信の実施	B
効率性	業務のプロセス改善(創意工夫)	A	組織学習	職員の知識向上のための取組み	B
	投入した費用・労力に対する成果	B		知識の伝達	B
評価理由(特記事項)					総合評価
・燃料使用量の抑制を推進しているが、引き続き使用量削減に努めていく。					B

7 今後の実施方針等

事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
・車両の入れ替えの際は、より燃費性能の高い車両の導入に努める。また、省エネ運転の周知により、使用燃料の削減を推進する。	現状維持で継続